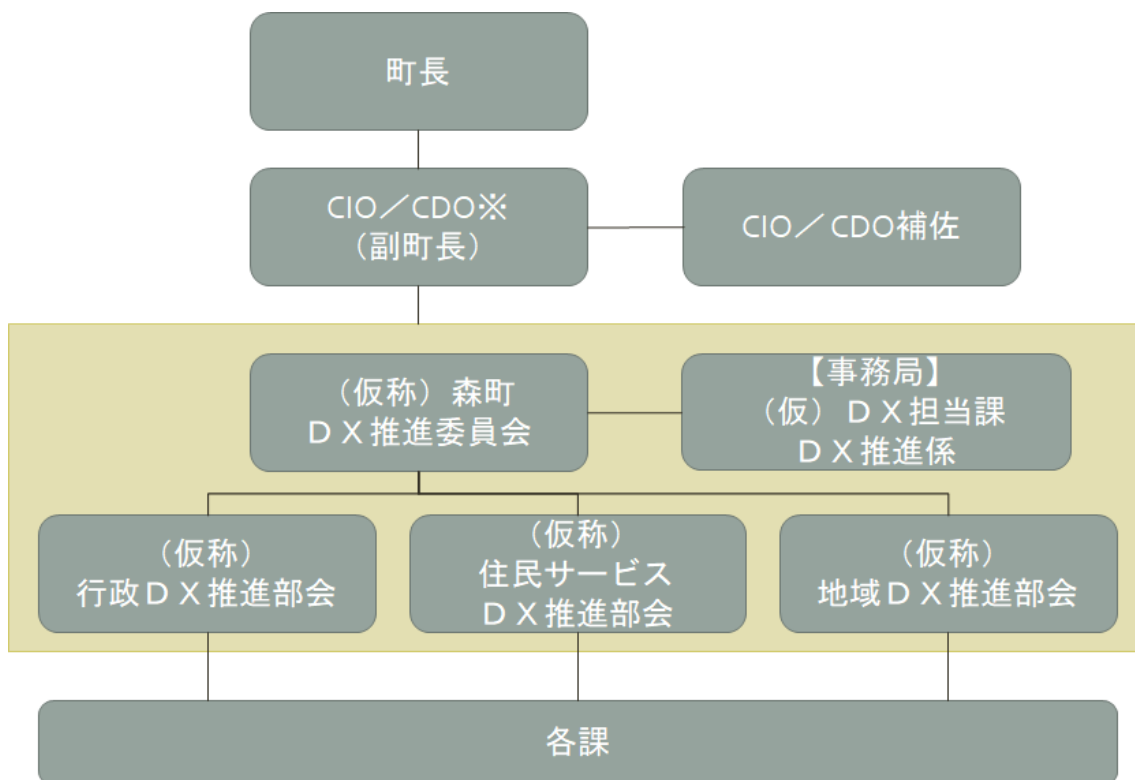


8. デジタル政策の推進体制

8-1 デジタル政策の推進体制

限られた予算・人材の中で、短期間で極めて多くの業務に関係する取組みを進めていくために、全庁的・横断的に調整及び進捗管理ができる体制が必要となります。このことを踏まえ、本町におけるデジタル政策の推進体制を以下に示します。（図 36、表 1 参照）



※CIO: Chief Information Officer 情報化推進統括者

※CDO: Chief Digital Officer デジタル化推進統括者

図36:森町におけるデジタル政策の推進体制

表1:森町におけるデジタル政策推進体制(役割)

町長	デジタル政策の最終決定権者
CIO/CDO (副町長)	デジタル政策の統括責任者
CIO/CDO 補佐	CIO/CDO を補佐し、専門的見地から助言を行う
(仮称)森町DX 推進委員会	- デジタル政策の意思決定機関 - デジタル政策の方針検討、進捗管理等を行う - トップは CIO/CDO を想定
(仮称)行政DX 推進部会	- 庁内業務のデジタル化など「行政の DX」に関する方針・アクションプランの検討、進捗管理等 - 行政分野に関わる課・系の代表により構成
(仮称)住民サービス DX推進部会	- オンライン窓口の推進など「住民サービスの DX」に関する方針・アクションプランの検討、進捗管理等 - 住民サービス分野に関わる課・系の代表により構成
(仮称)地域DX 推進部会	- 産業・観光・移住促進など「地域の DX」に関する方針・アクションプラン検討、進捗管理等 - 地域分野に関わる課・系の代表により構成
(仮) DX 担当課 DX 推進係	- DX 推進委員会及び各推進部会の庶務事務を行う - デジタル政策の推進に関する連絡・調整等を行う

8-2 デジタル政策の効果的な推進に向けて

デジタル分野における様々な変化は、これまで以上に速いスピードで起こっています。このスピードに対応するためには、政策判断や意思決定も同様のスピードで行うことが望ましいとされています。

このような激しい変化に対応するためのマネジメントの考え方として、OODAループ（ウーダループ）が提唱されています。OODAループでは、社会環境の変化を「観察（Observe）」したら、その変化について「状況判断（Orient）」し、変化への対応を「意思決定（Decide）」します。意思決定した後は、その内容に沿って「行動（Act）」します。OODAループの詳細については資料編で解説します。

これまではPDCAサイクルに沿ってマネジメントを進めてきましたが、デジタル分野では前述のような激しい変化に対応するため、短期的対応と中長期的対応とで異なるマネジメントサイクルを適用することとします。すなわち、激しい変化がもたらされるサイクルでは短期的対応に適したOODAループに基づき意思決定を行い、計画期間全体でのマネジメントが必要なサイクルでは中長期的対応に適したPDCAサイクルに基づき評価と見直しを行うこととします。（図 37 参照）

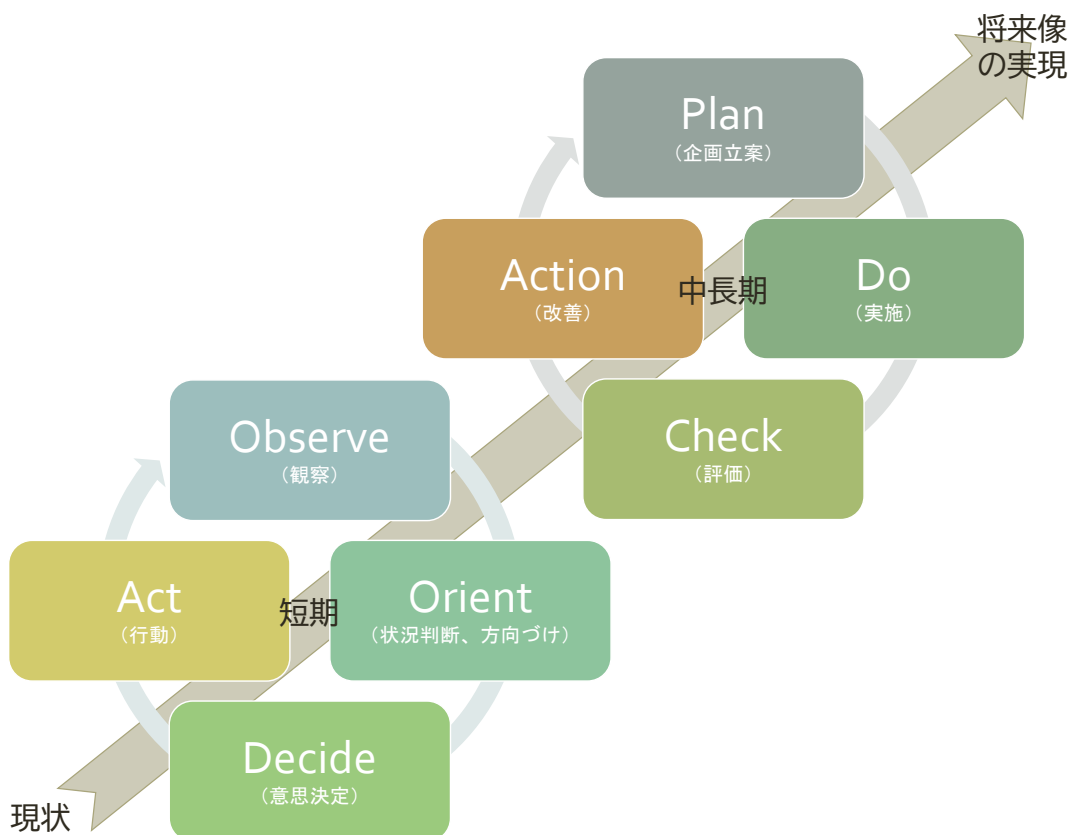


図 37: 森町 DX 推進計画におけるマネジメントサイクル